

# IOS CLI移行アシスタント

## 目的

この記事の目的は、Cisco CatalystシリーズスイッチのWebユーザインターフェイス(UI)からIOS変換ツールを使用して、既存のCisco Catalyst 1000コンフィギュレーションファイルをCatalyst 1200/1300/1300X設定構文に変換する方法について説明することです。

## 該当するデバイス|ソフトウェアバージョン

- Cisco Catalyst 1200
- Cisco Catalyst 1300
- Cisco Catalyst 1300X

## はじめに

IOS Conversion Tool (登録ユーザ専用) は、既存のCatalyst 1000のコンフィギュレーションファイルを新しいスイッチファミリで使用される構文に変換することで、Cisco Catalyst 1000スイッチからCisco Catalyst 1200、Catalyst 1300、またはCatalyst 1300Xプラットフォームに移行するネットワークのガイド付き移行パスを提供します。Catalyst 1200/1300/1300XスイッチのWeb UIには、オンライン変換ワークフローへの直接的なラUNCHポイントが含まれています。これにより、ツールへのアクセスが簡素化され、移行計画の合理化に役立ちます。このプロセスが適用されるのは、Catalyst 1000のコンフィギュレーションファイルがソース入力として使用でき、その結果得られる出力がCatalyst 1200、Catalyst 1300、またはCatalyst 1300Xの展開を対象としている場合です。この機能は、ローカルスイッチ設定ではなく、移行準備の一部として使用されます。そのため、主な要件は、有効なCatalyst 1000コンフィギュレーションファイルと、Web UIおよびCiscoサインインページへのアクセスです。

## IOS変換ツールの起動

### ステップ 1

スイッチのWeb UIにログインします。この例では、Catalyst 1300スイッチが使用されています。



# Switch

Username 1

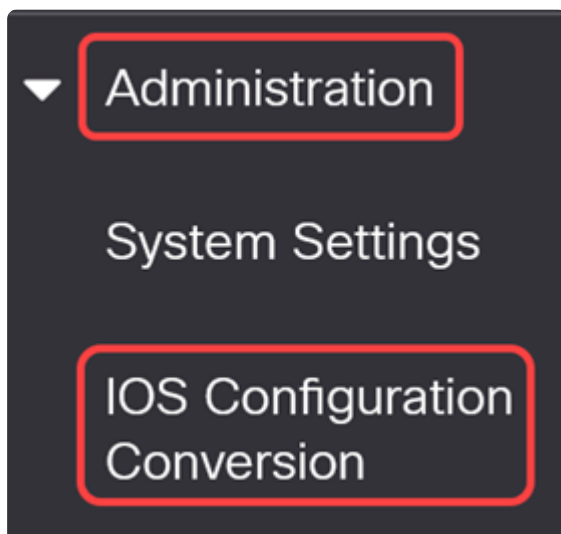
Password 2

English ∨

Log In 3

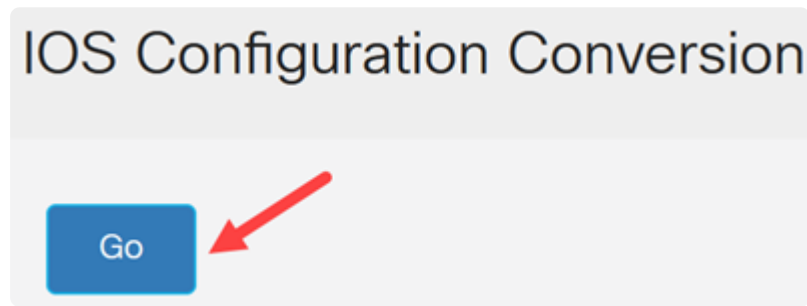
## ステップ 2

Administration > IOS Configuration Conversionメニューに移動します。



## 手順 3

Goをクリックして、IOS Conversion Toolを開きます。  
<https://cisco.com/go/iosconversiontool>にリダイレクトされます。



## コンフィギュレーションのアップロードと変換

### ステップ 1

リダイレクトされたシスコ変換ページで、Sign In with SSOボタンをクリックします。



## Login Required

Please sign in to access the Catalyst 1000  
Migration Assistant

→] Sign In with SSO


You will be redirected to the SSO login page


### ステップ 2

接続時にツールにアクセスするには、シスコにサインインする必要があります。ユーザは、自分のシスコアカウントを使用するか、GoogleまたはAppleアカウントを使用するかを選択できます。



## Login to Cisco AI Assistant

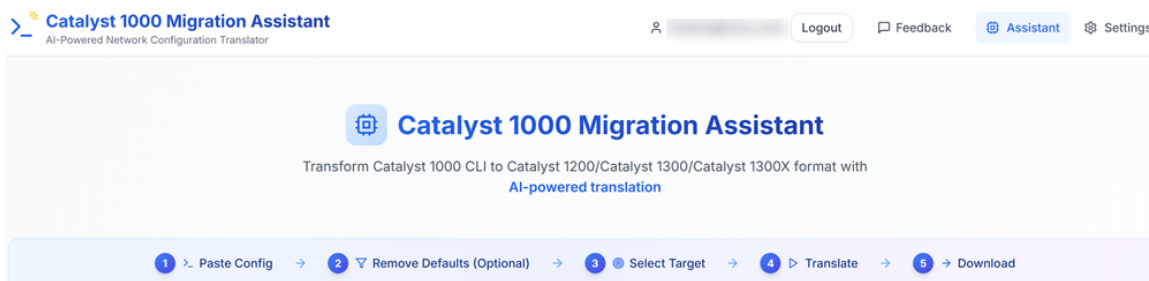
 Continue with Cisco SSO

 Continue with Google

 Continue with Apple

### 手順 3

IOS CLI Migration Assistantユーザインターフェイスにリダイレクトされます。



#### Note:

このツールはCatalyst 1000のコンフィギュレーションファイルの変換用に最適化されていますが、他のスイッチモデルのコンフィギュレーションファイルの変換を提供します。他のプラットフォームから設定ファイルを変換する場合は、変換結果を徹底的にレビューすることをお勧めします。

### ステップ 4

既存のCatalyst 1000コンフィギュレーションファイルをアップロードするオプションを選択します。

## >\_ Source Configuration

Remove Defaults Sample

C1000-Untitled-Config 

1 lines

 Upload File

Enter your C1000 CLI configuration here...

### Note:

ソースファイルは、移行されるCatalyst 1000スイッチの現在の設定である必要があります。アップロードされたファイルの内容を確認して、正しいファイルがアップロードされたこと、およびファイルから欠落したデータがないことを確認します。

### 手順 5

( オプション ) アップロードを確認したら、Remove Defaultsボタンを押します。これにより、IOSの実行コンフィギュレーションにリストされる必要のないデフォルト情報が削除されます。


## >\_ Source Configuration

Remove Defaults

Sample

cat1k-config 

160 lines

 Upload File

```
! Last configuration change at 07:24:47 CST Thu Oct 16 2025
!  
version 15.2  
no service pad  
service timestamps debug datetime msec  
service timestamps log datetime  
no service password-encryption  
!
```

### 手順 6

変換を実行する前に削除される行を示すポップアップが表示されます。Confirm & Remove Defaultsボタンをクリックして続行します。

### Remove Default Configuration

Review what will be removed before confirming

27 Lines to Remove

94 Lines to Keep

Configuration Preview (Red strikethrough = will be removed)

```
1 Building configuration...
2
3 Current configuration - 3837 bytes
4 !
5 Last configuration change at 07:24:47 CST Thu Oct 16 2025
6 !
7 version 15.2
8 no service pad
9 service timestamps debug datetime msec
10 service timestamps log datetime
```

Confirm & Remove Defaults

#### 手順 7

ターゲットプラットフォームを選択し、対応する青色の「変換後」ボタンをクリックします。この例では、Catalyst 1300プラットフォームが選択されています。

### Select Target Platform

Choose where this config should be translated to

Catalyst 1200 **Catalyst 1300** Catalyst 1300X

Translate to

Translate to Catalyst 1300

#### 手順 8

ツールUIのTranslation Resultペインに進行状況インジケータが表示されます。変換の完了にかかる時間は、ソース設定ファイルのサイズと複雑さによって異なります。

### Translating Configuration... ×

Translation Progress 32%

🕒 About 31 seconds remaining

🕒 Translation in progress  
You can continue using the application. Translation results will be automatically saved.

## 変換後の内容を確認して保存する

### ステップ 1

変換が完了したら、変換された設定を比較、コピー、ダウンロード、または評価への追加のいずれかを選択できます。

✔ **Translation Complete**  
🕒 84.96s

↔ Compare    📄 Copy    ⬇ Download    📁 Add to Evaluation

### ステップ 2

サポート対象外のコマンドは赤で色分けされ、説明が表示されます。

## Translation Complete

🕒 84.96s

↔ Compare

📄 Copy

↓ Download

📁 Add to Evaluation

### >\_ Catalyst 1300 CLI Configuration 📄

130 lines

```
!  
! Translation Summary:  
The Catalyst 1300 configuration does not support the System  
Configuration Dialog feature from Catalyst 1000. This feature is  
interactive and not represented as a CLI block in Catalyst 1300.  
Therefore, no equivalent configuration can be provided.  
!  
! service timestamps log datetime ! unsupported  
! Translation Summary: The Catalyst 1300 platform does not support the  
`service timestamps log datetime` command. There is no equivalent  
configuration to enable timestamping of syslog messages with the  
system clock.
```

### 手順 3

Compareボタンをクリックすると、ソースコンフィギュレーションファイルと変換後のファイルを比較する新しいポップアップウィンドウが開きます。

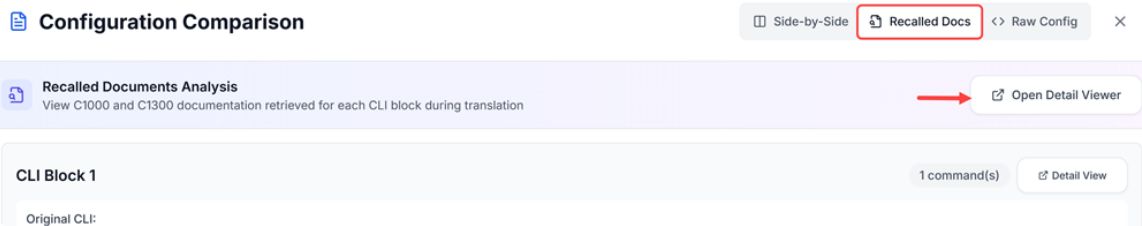
#### 📄 Configuration Comparison

🗒 Side-by-Side 📄 Recalled Docs <> Raw Config ✕

<code>&gt;_ C1000 Original Configuration</code> 94 lines • 19 blocks	<code>→ C1300 Translated Configuration</code> 130 lines • 19 blocks
<b>CLI Block 1</b> Building configuration...	<b>CLI Block 1</b> <span>📁 Add to Eval</span> The Catalyst 1300 configuration does not support the System Configuration Dialog feature from Catalyst 1000. This feature is interactive and not represented as a CLI block in Catalyst 1300. Therefore, no equivalent configuration can be provided. ! Translation Summary:
<b>CLI Block 2</b> service timestamps log datetime	<b>CLI Block 2</b> <span>📁 Add to Eval</span> ! service timestamps log datetime ! unsupported ! Translation Summary: The Catalyst 1300 platform does not support the `service timestamps log datetime` command. There is no equivalent configuration to enable timestamping of syslog messages with the system clock.

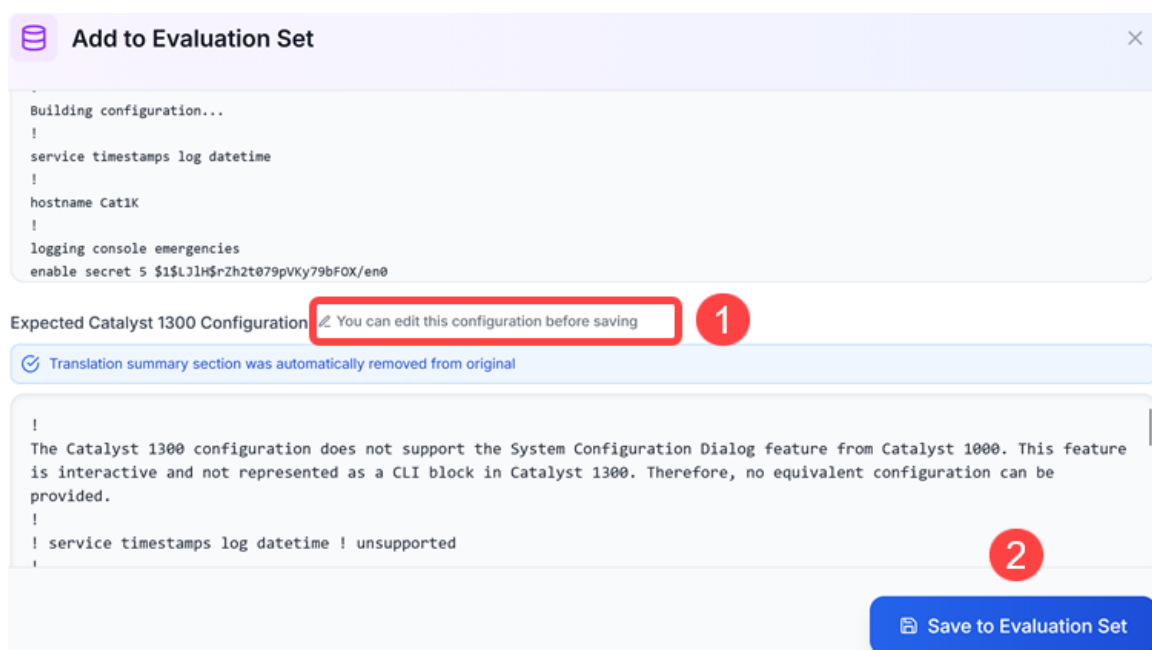
### ステップ 4

設定の比較の下のリコール対象ドキュメントには、具体的に変換がどのように行われ、どのシスコドキュメントが変換のために参照されたかが示されます。Open Detail Viewerをクリックして、参照されたドキュメントの特定のセクションを表示します。



## 手順 5

評価に追加ボタンは、AIの翻訳エラーのトレーニングと修正に役立ちます。翻訳されたコードを編集してエラーを修正し、そのコードを評価セットに送信して翻訳エラーを修正することもできます。



## 手順 6

翻訳の概要を非表示にするオプションもあります。翻訳中、AIは設定にコメントを追加して、翻訳されないセクションを説明します。これは、変換が成功または失敗した場所を特定するのに役立ちますが、コードの読み取りが煩雑になる可能性があります。これを非表示にすると、結果が読みやすくなる場合があります。

 **Translation Complete**  
🕒 84.96s

 Compare

 Copy

 Download

 Add to Evaluation

 **Catalyst 1300 CLI Configuration** 

130 lines

## 結論

これで、IOS変換ツールの概要と、IOS変換ツールを使用してエンタープライズコンフィギュレーションファイルをCatalyst 1200、Catalyst 1300、およびCatalyst 1300Xコンフィギュレーションに変換する方法について学習しました。

詳細については、Catalystシリーズスイッチの『管理ガイド』を参照してください。

[Cisco Catalyst 1200アドミニストレーションガイド](#)

[Cisco Catalyst 1300アドミニストレーションガイド](#)

[Cisco Catalyst 1300Xアドミニストレーションガイド](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。